

第10回公立大学法人神戸市看護大学評価委員会

1. 日 時 令和5年8月21日（月） 14:56～16:45
2. 場 所 三宮研修センター805会議室
3. 出席者
 - 委 員 松田委員長
高見沢委員、船山委員、松山委員、丸山委員
 - 看護大学 北理事長、江川学長、永田本部長 他
 - 事務局（神戸市） 花田局長、三川副局長、梅澤健康局病院等調整担当課長 他

開会

4. 議 事

- 議題1 2022（令和4）年度業務実績に関する評価について
- 議題2 第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価について

（業務実績について看護大学から説明）

○委員

2022年度業務実績に関する評価の4ページに、市内就職奨励金の記載がありますが、奨励金は課税対象となり、所得、手取りが減ることになると思いますので、それは分かっておいていただく必要があると思います。

○委員

2022年度業務実績に関する評価の7ページに、内部統制システムの不備について、看護大学で内部監査を行い、担当職員2名をこれから投入して改善していくとのことですが、どういう問題意識を持っていますか。

○看護大学

法人化した際の規定等が不十分であることです。例えば、他の独法化した法人にならって規定を制定した結果、事務が手間になることや実態にそぐわない部分が多くなり多く出ています。

結果的にその規定を遵守できていない状況も出てきていますので、規定の見直しや業務マニュアルの再整備等、現在、鋭意進めているところです。

○委員長

別紙にこの問題について分かりやすく解説する資料をつけられたらどうですか。

○看護大学

内部告発の内容をどこまで開示できるのかというところも含めまして、検討したいと思います。

また、告発の内容を調査するうちに、先ほど申しあげましたような規定の整備など、大学として根本的な不備があることが判明し、その点について御指摘をいただいておりますので、資料として内容をまとめさせていただきたいと思います。

○事務局

内部告発の内容そのものは差しさわりがある部分もありますが、監査でどのような指摘をされたかが問題だと思いますので、監査での指摘内容と大学としての対応について資料を添付し、それを含めて評価をいただく形で進めたいと思います。

○委員

2022年度業務実績に関する評価の8ページで、S評価にされている根拠として、学部試験の競争倍率が4.5倍となり、過去6年間で最高だったとしていますが、一方で、GPA2.4未満の学生が増えている。倍率が上がったことで、この問題が解消されるという理解でしょうか。

○看護大学

GPAの最高点は4点満点でございますので、GPA2.4は要するに6割です。複数の科目の平均を取っていますので、GPA2.4未満だとしても、もちろんS評価を

取っている人もいます。これが47名と増えた原因について、大学でいろいろと調査をいたしました。複合的な要因がありますので明確に分かっているわけではないですが、年度末に退職された教員等は後任の補充ができておらず、現在、非常勤で対応している科目がたくさんあります。そのため、評価者の評価の視点や、評価の基準が今までと変わっている部分がございます。G P A 2.4未満の学生の増加は、恐らくそういったことが影響しているのではないかと考えております。非常勤の教員には、評価基準の適正化をお願いしております。

○委員

科研費の新規申請率の数値目標75%以上でしたが、実績は48.1%ということでした。昨年と比べると10%程度増えていて、お忙しい中、教員の皆様の理解と協力がかなりあったとは思いますが、それでもまだ数値目標に達していないという点で、今後どのように取り組まれるか教えてください。

○看護大学

まず、この科研の申請については締切が早まっているため、2年前から取り組んでいる科研獲得プロジェクトについて、スケジュールを早めるといったことを対策として既に考えております。

また、現在、6名の常勤教員が休職しており、アルバイト対応をしていますが、アルバイト教員に対する教育指導にかなりの時間を要しており、休職者に対する対応も今後考える必要があります。さらに、委員会数や時間の見直し、その他業務整理を行って、研究に充てる時間を確保できるようにしなければ、当然、科研の申請、計画書の作成は難しいと考えており、教員の働き方改革に取り組んでいるところでございます。

○委員

資料を拝見して、看護師をいかに地域に定着させるかというのが大きな課題になっているので、市に限定するのか、兵庫県に定着してくれるような対応に広がって

いけばいいと思いますが、ここでも出された対策は効果があるのか、どこまで予算取りができるのか、本当に市内就職奨励金という形がいいのか、在学中に可能な取り組みはないか、まだまだ検討する余地は残っているのではないかと思います。

○委員長

他府県から神戸市看護大学に入学し、素晴らしい大学であると認識してもらったうえで、卒業していった人材が一度神戸を離れてもまた戻ってくるという好循環を生み出すことが重要であり、次期計画で検討していただきたいと思います。市内就職者に奨励金を支給して市内就職率が向上すればよいというだけの問題ではないと個人的にはと思いますが、どうでしょうか。

○看護大学

教員としては学生の就職の自由を重んじ、市内就職を強く勧めているわけではなく、学生の就職の自由を尊重して関わっています。

○事務局

神戸市の公立大学は外国語大学と看護大学の2つがございまして、全然役割が違うと思います。外国語大学は、神戸で学んでいただいて、日本国内や海外で活躍していただくこととなりますが、看護大学については市内に優秀な看護人材を供給するという設置目的があり、神戸市としては、神戸市の公立大学として交付金を投入している限りは、市内に優秀な人材を確保していただく必要があると考えています。

○松田委員長

市内就職率が50%を割り込んでいるとなると、確かに市としては対策が必要ですが、今後何%を目標にするのか、市内に留まらない要因をアンケート調査などでしっかり分析し、それを出発点にして計画を立てて、必要な資金を予算化するなど作戦が要るのではないかと思います。

○委員

大学院が非常に不振ですが、大学院を出るインセンティブが看護の場合はなさそ

うです。そうすると、努力されてもなかなか、倍率が上がることはないと思うので、無理があると思います。

○看護大学

看護系大学は全国で300校近くに増えております。兵庫県内でも15校の看護系大学がございますので、大学院を持っている看護系の大学ももちろんたくさんございます。どこの大学も、大学院生は定員充足が難しい状況とお聞きしており、どこの大学も二次募集をしながら、何とか定員充足の努力をしております。本学としては新たに学内推薦と病院からの機関別推薦を昨年度から始めまして、昨年度は2名、今年度は3名と、少しずつ数を増やして定員確保を目指しているところですので、もう少し様子を見て、この推薦の効果があまりないようであれば、また別の方策を考えたいと思っているところでございます。

大学院を卒業しても病院に行ったら給料が上がるわけじゃないし、ポジションがつくわけでもない。専門看護師についてインセンティブや病院内でのポジションを設けるといった取り組みも必要と考えております。

○委員長

今、臨床の世界で求められているのは、認定看護師とか専門看護師、特定看護師です。神戸市立看護大学で立派な研究を行い、国際学会で発表しているが、もっと現場で指導的な認定看護師を供給することが非常に大事です。神戸市看護大学の売りとして将来構想について議論していただきたいです。

○委員長

コロナ対応に努められましたが、それを教訓にまたいつ起こるかわからないわけですし、行った対応の蓄積と業績については、今後どのように活用するかという視点でまとめてほしいと思います。

それでは、評価の決定を行いたいと思いますので、大学関係の方々は一度ご退席をお願いいたします。

(看護大学関係者 退席)

○委員長

今までの議論の中で何か（事務局の評価案の中で）御意見はございますでしょうか。

(意見なし)

○委員長

それでは、退席いただいた大学の方々、お入りください。

(看護大学関係者 入室)

○委員長

2022年度業務実績に関する評価と第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価について委員で議論し、小項目、大項目、全体評価について原案どおりで了承となりました。評価結果につきましては、後日評価委員会を代表して、私から設立団体の長に報告いたします。

追加の議論として、まとめのところの文言を少し変更し、内部統制は別添の資料をつけていただきたいと思います。特に、今日の議論を踏まえて、時代の要求や、神戸市看護大学のミッション、売り、弱いところを明確にして、神戸市の意向も踏まえて、次の計画を立ててください。

報告 利益処分について

○委員長

それでは、報告について事務局からお願いいたします。

(利益処分について事務局から説明)

○委員長

利益処分の説明について何かご意見はございますでしょうか。

(意見なし)

○委員長

本日予定されました議題は以上です。最後に事務局からお願いいたします。

○事務局

委員の皆様方におかれましては、長時間にわたり、公立大学法人神戸市看護大学の「2022年度業務実績に関する評価」、「第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価」についてご議論いただきまして、誠にありがとうございました。

今後とも、法人並びに大学の運営に、引き続きお力添えいただきますようよろしくお願いいたします。

閉会

○委員長

それでは、第10回公立大学法人神戸市看護大学評価委員会を終了いたします。

お疲れ様でございました。